

# 市政懇談会「市長のいきいきタウントーク」を開催しました

■問い合わせ先 総合政策課 ☎(32)8886

10月5日から11日にかけて、令和5年度市政懇談会「市長のいきいきタウントーク」を市内3会場で開催しました。

4日間で延べ183名の方が参加され、市政に対する多くのご意見・ご要望が寄せられました。

いただいたご意見などは、今後のまちづくりに活かしていきます。



開催日・場所	参加者	意見・要望
10月5日(木) グリムの館	67名	16件
10月6日(金) 国分寺公民館	42名	12件
10月7日(土) 南河内公民館	44名	12件
10月11日(水) 国分寺公民館	30名	17件
合計	183名	57件

## ご意見・ご要望の内訳

市民生活	22
生活基盤	9
教育・文化	9
保健福祉	8
産業振興	3
その他	6
合計	57

## ご意見と回答

いただいた主なご意見と市の回答の一部を紹介します。一覧は、市ホームページでご覧いただけます。

### 子どもから始めるリサイクル促進活動について

**Q** 私の子どもが通っていた幼稚園は、「秋のごみ拾い活動」や「子どもたちへのごみ分別ワークショップ」があり、子どもたちは楽しみながら行い、分別を当たり前のこととして捉えていました。下野市のリサイクルを促進する活動として、子どもから始めるのはどうでしょうか。

**A** 市では、子どもから大人までが、リサイクルやごみの減量化などを身近なものとして学んでいただき、実践していただけるよう、「ふるさと学習」や「出前講座」を実施しております。内容などについては、今後も見直しや追加などを検討してまいります。

### 免許返納した人の交通手段について

**Q** 民生委員をしています。担当する地区の高齢者の中には、身体的な問題や色々な理由で運転免許証を返納した方がいますが、病院や買い物などの市民生活を送るにあたって不便になっている方がいます。下野市では、自動運転技術を利用した地域交通の問題を解決する施策を考えているのかをお聞きしたいです。

**A** JR自治医大駅と自治医科大学附属病院の間で、自動運転バスの実証実験を実施する予定です。高齢者の皆さま、交通弱者の皆さまのために、さらに充実した地域交通を整備できるように、今後様々な課題を解決していきたいと考えております。

### 今後の自治会についての対策

**Q** 自治会の加入率が低下し、役員のみ手もいなくなるなど、自治会の活動が現在、岐路に立

たされています。地域コミュニティを、誰がどう支えていけばいいのでしょうか。このままでは、市の行政に大きな影響を与えたいと思います。

**A** 自治会の加入率の向上に向けた事業を推進し、住みよい地域づくりを支援してまいります。

昨年、市自治会長連絡協議会、栃木県宅地建物取引業協会と「自治会加入促進に関する協定」を締結しました。自治会や取引業務の中で、転入者などに対して自治会の重要性について働きかけていただき、加入促進を図っております。

加入促進に関わるチラシも新たに作成し、自治会活動の案内や災害時における共助の大切さをPRしております。

今後も、自治会に対する各種交付金などの制度見直しによる資金面の強化も含め、積極的に対策を講じていきたいと考えております。